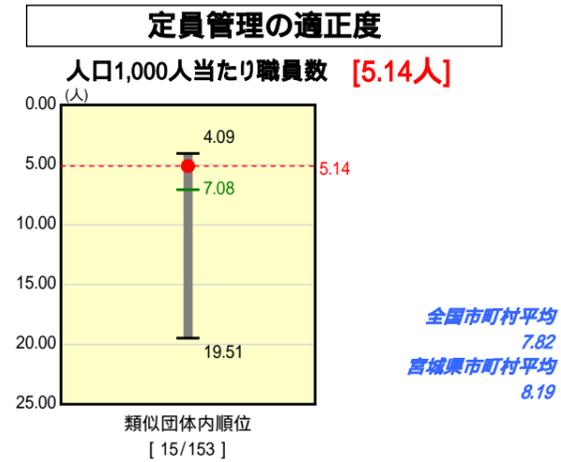
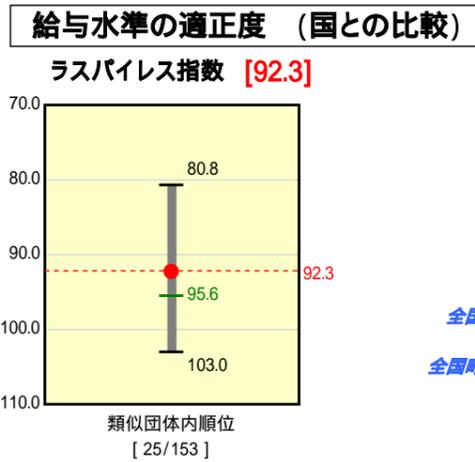
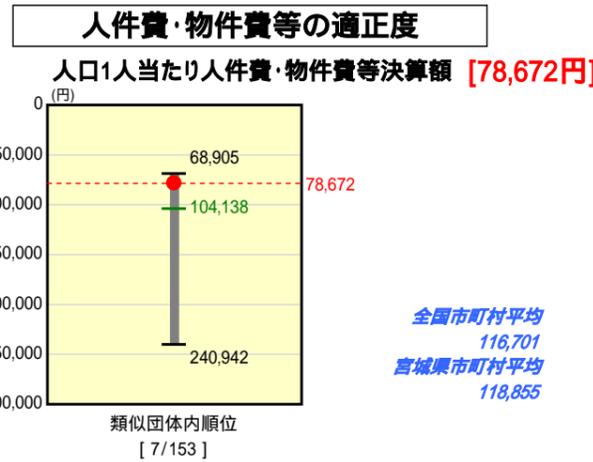
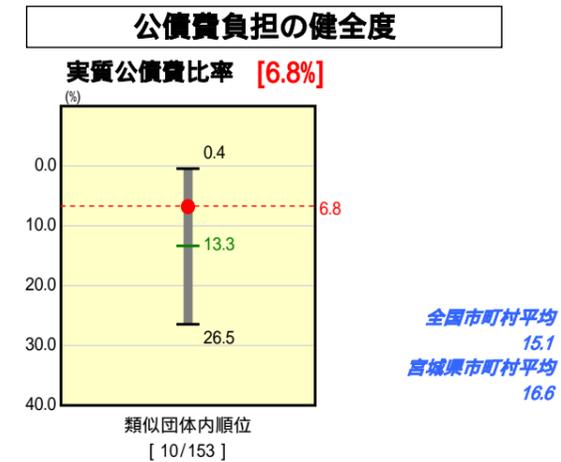
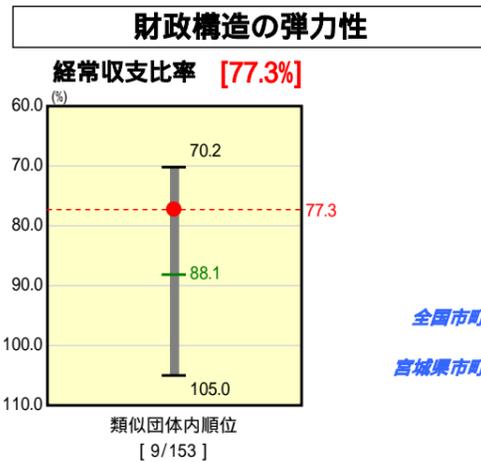
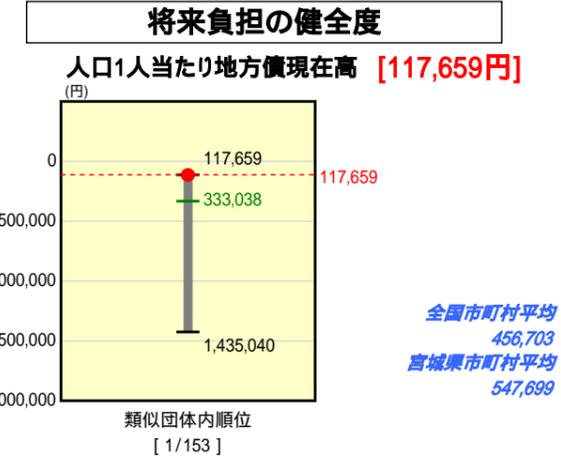
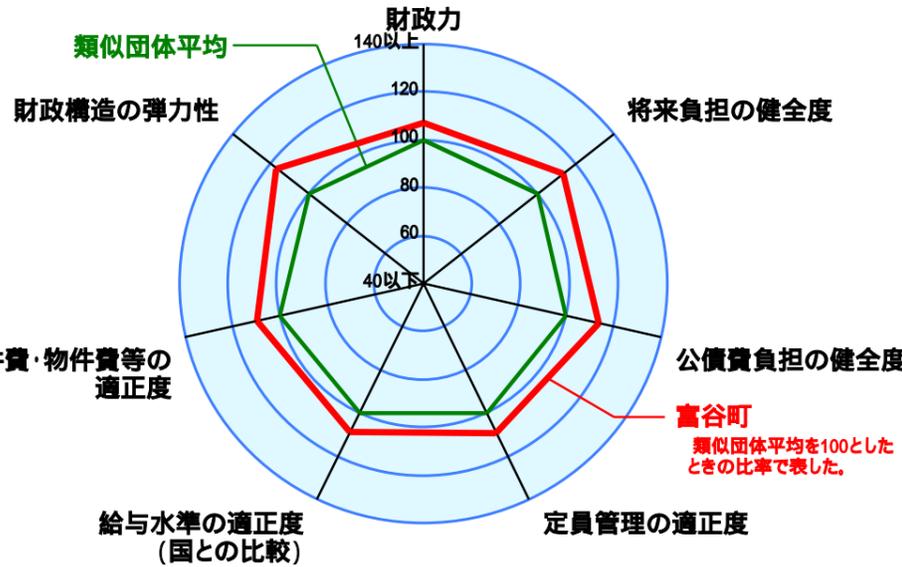
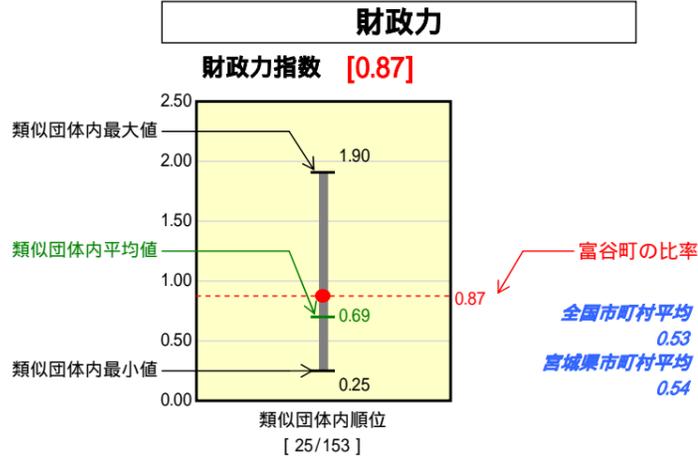


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 富谷町

人口	44,161 人(H19.3.31現在)
面積	49.13 km ²
歳入総額	9,366,513 千円
歳出総額	8,915,136 千円
実質収支	419,190 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- ・財政力指数
ここ数年は連続した伸びを見せており、平成18年度は前年度比0.03ポイント増の0.87となっています。近年の大規模な宅地開発による人口の増加や法人数の増加等による基準財政収入額の増加が主な要因である。今後も町税の徴収強化、歳出の削減、給与の適正化の取り組みを通じて財政基盤の強化に努める。
- ・経常収支比率
昨年の普通交付税不交付の状況から交付されたことに伴い、経常一般財源が大幅な増額となり、比率の改善に大きく影響している。(経常一財の推移 H16:7,845,700千円 H17:5,264,316千円 H18:6,604,864千円)
また、扶助費をはじめ年々増加傾向にあるが、引き続き人件費の削減や事務事業の効率化、物件費の抑制に努めるとともに、各種会計の健全化等を図りながら更なる経常経費削減に努める。
- ・人口1人当たり人件費・物件費等の決算額
集中改革プランによる人件費の抑制や物件費等の見直しにより、昨年と比較して圧縮されている。今後も人件費や物件費のみならず、歳出全般の抑制を図り、健全財政維持に努める。
- ・ラスパイレス指数
経験年数階層の変動により、全国及び類似団体において平均を下回っている。

- ・実質公債費比率
引き続き一般会計の公債費が減少していることから、悪化の要因は少なく、平成16年度に行った、減税補てん償の満期一括償還による単年度比率の高い分(17.6%)についても平成19年度の実質公債費比率の算出から抜かれる為、更なる比率の改善が予想される。
- ・人口1人当たり地方債現在高
前述の減税補てん償の満期一括償還により後年度の公債費負担が大幅に改善されていることや堅調な人口の伸びにより住民一人当たりの地方債現在高は減少している。今後も新規の地方債発行には財政状況を十分に考慮し、適正な財政運営を行っていく。
- ・人口1,000人当たり職員数
人口増加に伴う業務量の増を職員採用により対応していたが、平成13年度の282人をピークに機構改革やOA化により、新規採用の抑制を図ってきたことや堅調な人口の伸びなどにより類似団体を下回っている。
(平成13年度～平成19年度 28人 9.9%の減)